事例No.	1956
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	滋賀県彦根市

事例区分	公共施設管理

タグ	・福祉・介護 ・公共施設活用 ・公共施設等総合管理計画

事例種類	ユニバーサルデザイン化事業

事例内容・タイトル

彦根福祉センターユニバーサルデザイン化事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

ユニバーサルデザイン化事業①

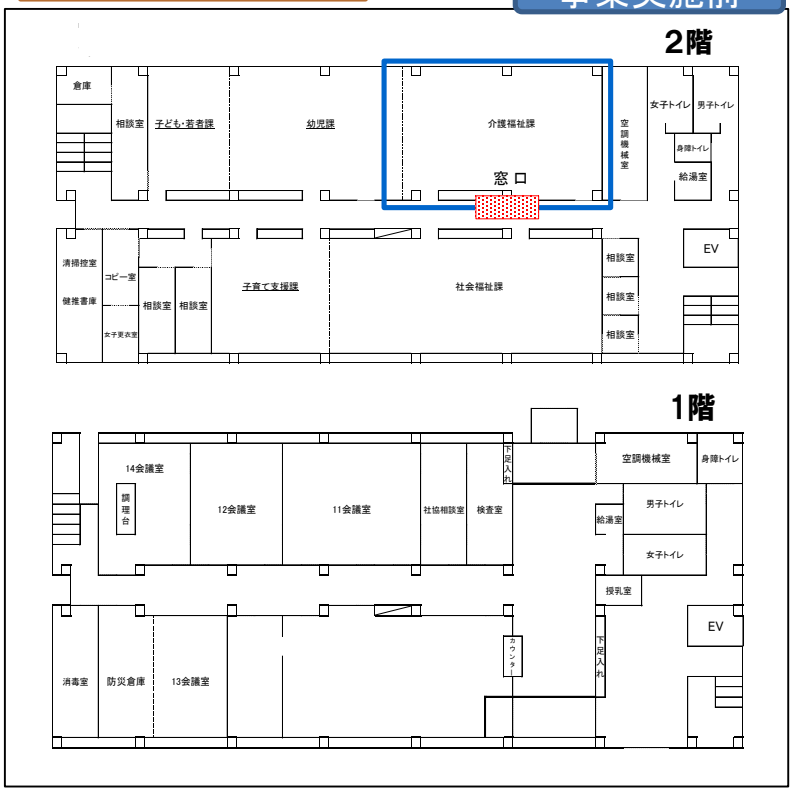
事業の概要

滋賀県彦根市（人口11.3万人）「彦根福祉センターユニバーサルデザイン化事業」

昭和56年に建設された福祉センターは、段差や駐車場からの動線、窓口の配置などが利用者にとって不便な配置・構造となっていたため、これらを解消すべく、本館1階への窓口の集約化や段差解消、点字ブロックの設置等の整備を行った。

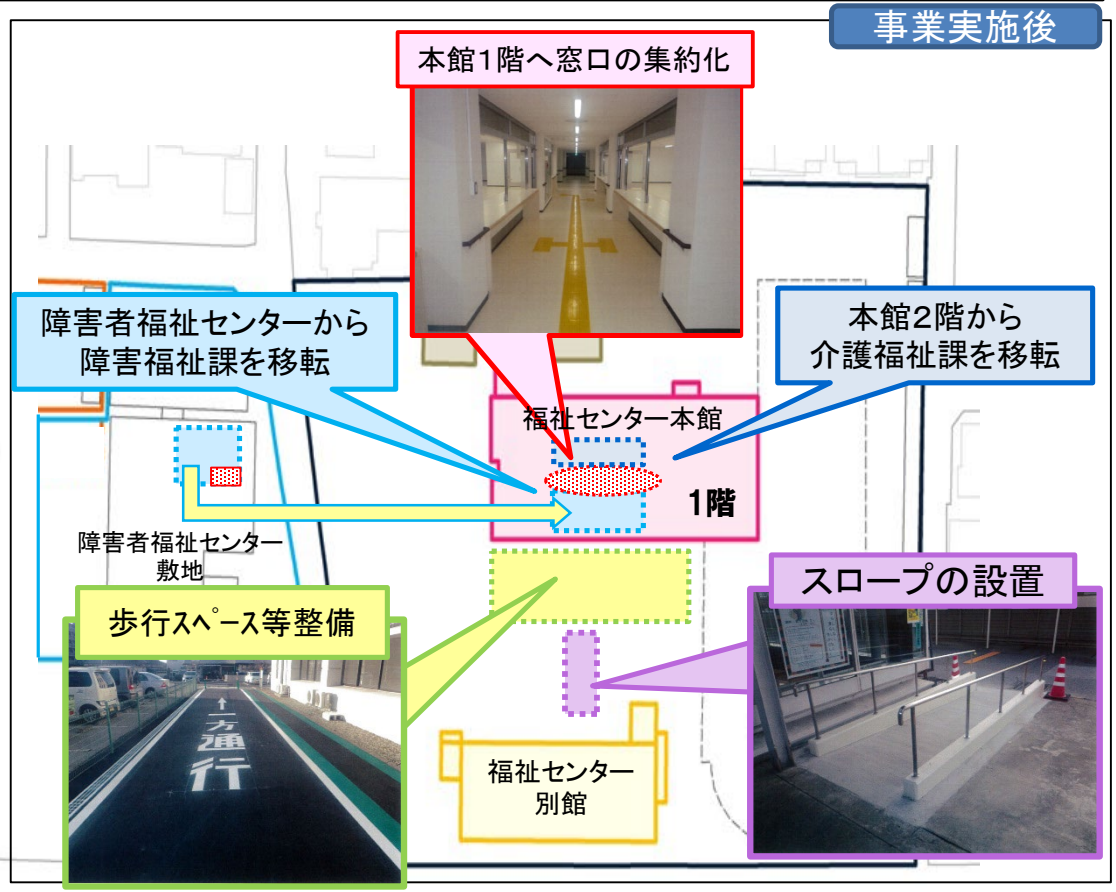
事業のポイント

事業実施前



ユニバーサルデザイン化

事業実施後



事業の効果

○ ハンディキャップを持った方でも利用しやすい施設となった。
○ 利用者の動線を意識することで、効率的かつ利便性の高い機能配置となった。